

平成31年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査
筆記審査（専門教養）

中学校 音楽

高等学校 音楽

受審番号		氏名	
------	--	----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。
 - 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○0	○0	○0	○0	○0
●	○1	○1	○1	○1
○2	●	○2	○2	○2
○3	○3	●	○3	○3
○4	○4	○4	●	○4
○5	○5	○5	○5	●

記入例

(受審番号12345の場合)

- ※ 正しくマーク（正しい選択問題への解答及びマーク）していないと、正確に採点されませんので、注意してください。

※本冊子の裏表紙に、【注意事項】の続きが記載されています。本冊子を裏返して、必ず読んでください。まだ、問題冊子は開かないでください。



第1問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 音程に関して、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次の楽譜に示す音程を、下のa～eから一つ選びなさい。



a 短6度 b 増6度 c 短7度 d 重減6度 e 長6度

(2) 次の楽譜に示す音程を、下のa～eから一つ選びなさい。



a 長3度 b 増4度 c 完全4度 d 重減4度 e 減4度

(3) 次の楽譜に示す音程を、下のa～eから一つ選びなさい。



a 増8度 b 重増8度 c 減8度 d 重減8度 e 完全8度

2 和音・コードネームに関して、次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 次の楽譜に示す和音は何調の何度の和音か、下のa～eから一つ選びなさい。

工



- a へ短調のⅢ度の和音 b 変ト長調のⅡ度の和音
c ハ短調のⅥ度の和音 d 変ニ長調のⅤ度の和音
e 嬰ト短調のⅠ度の和音

(2) 次の楽譜に示す和音は何調の何度の和音か、下のa～eから一つ選びなさい。

オ

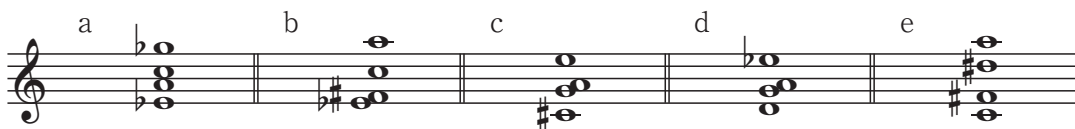


- a 変ホ長調のⅡ7度の和音 b 嬰へ短調のⅦ7度の和音
c 嬰ハ短調のⅢ7度の和音 d 嬰ト短調のⅥ7度の和音
e イ長調のⅤ7度の和音

(3) 次のコードネームで表される和音を、下のa～eから一つ選びなさい。

カ

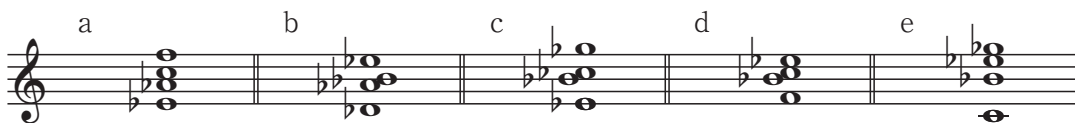
A^{dim7}



(4) 次のコードネームで表される和音を、下のa～eから一つ選びなさい。

キ

E^bm6

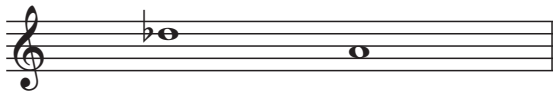


3 調性に関して、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1)「主調の同主調の平行調の属調がロ長調」である時、主調に該当する調を、次の a～e から一つ選びなさい。

a ニ長調 b 変ホ短調 c 嬰ハ長調 d イ長調 e 嬰ト長調

(2) 次の楽譜に示す2つの音を含む音階を、下の a～e から一つ選びなさい。



a ハ短調旋律的短音階（上行） b 変ト長調（長音階）
 c 変ニ長調（長音階） d 変ロ短調和声的短音階
 e ニ短調旋律的短音階（上行）

(3) 次の楽譜は、ある楽曲の中でイングリッシュ・ホルン（コーラングレ）が吹くパート譜の一部である。イングリッシュ・ホルンがないため、代わりにソプラノ・サクソフォーンを用いて演奏することにした。その場合、どの楽譜を用意したらよいか。適切なものを、下の a～e から一つ選びなさい。

(4) 次の楽譜はある楽曲の一部である。この部分は、何調から何調へ転調しているか、下の a～e から一つ選びなさい。

- a 変ホ長調から嬰ハ長調
- b 変ロ長調からニ長調
- c 変ロ長調から嬰へ短調
- d 変イ長調から嬰へ短調
- e 変ホ長調から嬰ト短調

(5) 次の楽譜はある楽曲の一部である。この部分の調を、下の a～e から一つ選びなさい。

- a ホ長調
- b ロ長調
- c 嬰ト短調
- d 嬰ハ短調
- e イ長調

第2問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 音楽用語に関して、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1)「威厳をもって」を意味する音楽用語を、次のa～eから一つ選びなさい。

- a sostenuto b dolente c spiritoso
d cantando e maestoso

(2)「その音の長さを十分に保って」を意味する音楽用語を、次のa～eから一つ選びなさい。

- a marcato b tenuto c legato d grandioso e staccato

(3)速さと強さを、同時に変化させることを意味する音楽用語を、次のa～eから一つ選びなさい。

- a diminuendo b stringendo c allargando
d accelerando e rallentando

2 音楽形式に関して、次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の楽譜で示した楽曲と同じ形式である曲を、下のa～eから一つ選びなさい。

エ

- a 「仰げば尊し」(作曲者不詳)
- b 「アニー・ローリー」(ジョン・ダグラス・スコット夫人)
- c 「翼をください」(村井邦彦)
- d 「春の小川」(岡野貞一)
- e 「この道」(山田耕筰)

(2) ソナタ形式の構成として最も適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

オ

- a 提示部 - 再現部 - 展開部
- b 前奏部 - 提示部 - 展開部
- c 序奏部 - 展開部 - 提示部
- d 提示部 - 展開部 - 再現部
- e 序奏部 - 移行部 - 再現部

(1) この楽曲名は次のうちどれか。該当するものを，次の a～e から一つ選びなさい。

カ

- a ピアノ協奏曲第1番（チャイコフスキー）
- b 序曲「フィンガルの洞窟」（メンデルスゾーン）
- c 組曲「展覧会の絵」（ムソルグスキー）
- d 交響詩「中央アジアの草原にて」（ボロディン）
- e 交響曲第2番ニ長調（シベリウス）

(2) この楽曲に用いられている形式の説明として正しい文章はどれか。次の a～e から一つ選びなさい。

- a 標題音楽の一種であり、単一楽章形式をとることが多い。19世紀中頃にリストが創始したとされる。その後、東欧やロシア、フランスなどで盛んに作曲されるようになり、ドイツでは19世紀末にR.シュトラウスが手がけた。
- b バロック時代には、舞曲の性格をもつ、いくつかの楽章を配列した作品として作曲された。19世紀になると、バレエ音楽から抜粋をしたり、物語や情景などと結びつくいくつかの楽章を連ねたりして、自由に作曲されるようになった。
- c もともとオペラやオラトリオ、バレエなどの前に演奏される楽曲であった。19世紀になると、そうした役割から独立し、標題的な性格をもった作品として、自由に作曲されるようになった。
- d オーケストラによって演奏され、通常は3楽章あるいは4楽章からなる。18世紀前半に確立され、ベートーヴェンの9曲の傑作を経て、20世紀初頭に至るまで、最も大規模で重要な器楽曲の分野になった。
- e バロック時代に成立し、古典派時代から19世紀を経て、20世紀になっても盛んに作曲された。独奏楽器とオーケストラによって演奏される作品であり、通常3つの楽章からなる。

(3) この楽譜において①で示されているパートはどの楽器で演奏されるか。次の a～e から一つ選びなさい。

- a クラリネット b ソプラノ・サクソフォーン
- c トランペット d アルト・サクソフォーン
- e フルート

(4) この楽譜において、で囲んだ部分の和音は、何調の何度の和音か。次の a～e から一つ選びなさい。

- a へ短調のⅣ度の和音 b 口長調のⅡ度の和音
- c 嬰ハ短調のⅤ度の和音 d 変イ長調のⅡ度の和音
- e 嬰ト短調のⅠ度の和音

第3問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 声楽作品について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) オペラの作品名と作曲者の組み合わせが正しくないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

	作品名	作曲者名
a	タンホイザー	ヴァーグナー
b	ばらの騎士	リヒャルト・シュトラウス
c	軽騎兵	ロッシーニ
d	ペレアスとメリザンド	ドビュッシー
e	フィデリオ	ベートーヴェン

(2) 次の楽譜は、ある歌曲の旋律の冒頭部分である。この歌曲の作曲者を、下のa～eから一つ選びなさい。

a 滝廉太郎 b 中田喜直 c 大中恩 d 中山晋平 e 弘田龍太郎

(3) 曲名と作曲者の組み合わせが、正しくないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

	曲名	作曲者名
a	花の街	團伊玖磨
b	赤とんぼ	山田耕筰
c	おぼろ月夜	岡野貞一
d	スキーの歌	橋本国彦
e	早春賦	成田為三

2 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) アルトリコーダーの運指と楽譜の組み合わせが正しくないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

a b c d e

7 ○ ○ 7 ○ ○ 7 ○ ○ 7 ○ ○ 7 ○ ○
 6 ○ ○ 6 ○ ○ 6 ○ ○ 6 ● ○ 6 ● ○
 5 ● 5 ○ 5 ○ 5 ● 5 ●
 4 ● 4 ○ 4 ○ 4 ● 4 ●
 3 ● 3 ● 3 ● 3 ○ 3 ●
 2 ● 2 ● 2 ● 2 ● 2 ●
 1 ● 1 ○ 1 ● 1 ● 1 ○
 0 ○ 0 ● 0 ○ 0 ● 0 ○

親指
 ↓
 吹き口

(2) クラリネットの胴体はいくつかの部分からなっている。このうち、リードを装着する部分から最も遠い部分を何というか。正しいものを、次のa～eから一つ選びなさい。

a 下管 b 上管 c ベル d バレル e マウスピース

(3) クラシック・ギターの説明として正しくないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a クラシック・ギターの調弦は、低い音から順にホ音、イ音、1点二音、1点ト音、1点口音、2点ホ音である。
- b クラシック・ギターでは通常右手の指や爪を使って発音する。
- c クラシック・ギターの胴体の表板には、大きな円形の穴があげられている。これをサウンド・ホールという。
- d クラシック・ギターでは、弦を弾いた後、その指を隣の弦に当てて止める弾き方をアル・アイレ奏法という。
- e クラシック・ギターで通常左手は、人さし指、中指、薬指、小指の4本の指で、フレットの近くを押さえて音の高さを変えて演奏する。

3 和楽器の構造や奏法に関して、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 箏の楽譜の中に見られる奏法の説明として正しいものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 楽譜の中の漢数字は、糸を弾く指の番号を示している。
- b 楽譜の中の算用数字は、弾く糸の番号を示している。
- c カタカナの「ヲ」や「オ」は、押し手と言い、左手で糸を押して音の高さを下げる奏法である。
- d カタカナの「ヒ」は引き色と言い、右手で糸を弾いた後に左手で糸を引き寄せて、音の高さを上げる奏法である。
- e 連続する漢数字が二つ一緒に（三四や五六のように）書かれているところは、かき爪と言い、中指を手前に向けて二本の糸をほとんど同時に弾く奏法である。

(2) 篠笛の構造や運指の説明として正しくないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 篠笛の指穴は7つのものと6つのものがある。
- b 篠笛の指穴の名前（番号）は、歌口から遠い方から1・2・・・6・7となっている。
- c 七孔の篠笛の場合、3の指穴（第三孔）は人差し指で開け閉めされる。
- d 七孔の篠笛の場合、三もしくは3と書かれる運指は指穴を3つ開けた状態である。
- e 運指を示す数字は、漢数字より算用数字の方が高い音域を示している。

- (3) 次の写真に示すA・Bの和太鼓について、説明が正しくないものを、下のa～eから一つ選びなさい。

A

B

- a Aは鉦打ち太鼓と言い、皮を鉦で胴に打って固定している。
- b Bは締太鼓と言い、両面の皮を互いに紐や金具で締めてある。
- c Aの太鼓は大太鼓、宮太鼓、槽太鼓などとも呼ばれる。
- d 能楽囃子でも用いられるのはAの太鼓である。
- e Bの太鼓は、通常、平置きにして片面だけを打って演奏する。

第4問 次の1・2の問いに答えなさい。

1 世界の音楽に関して、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 西洋音楽史について、楽曲名と時代区分の組み合わせとして正しくないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

楽曲名	時代区分
a 「教皇マルチェルスのみサ」(パレストリーナ)	古典派
b オラトリオ「メサイア」(ヘンデル)	バロック
c 多声のシャンソン「鳥の歌」(ジャヌカン)	ルネサンス
d オペラ「ヴォツェック」(ベルク)	現代
e 歌曲集「詩人の恋」(シューマン)	ロマン派

(2) 次の文で説明されている作曲家を、下のa～eから一つ選びなさい。

19世紀に活躍したフランスの作曲家。1830年に5つの楽章からなる標題交響曲の傑作を作曲した。この交響曲は、ある芸術家が女性との恋に破れて悪夢を見るという設定になっており、「固定楽想」と名づけられた1つの旋律がその女性を象徴し、楽章ごとに様々に変化する。この手法は、ヴァーグナーなどに影響を与えた。

- a サン＝サーンス b ドビュッシー c グノー
d クープラン e ベルリオーズ

(3) ジャズにおけるスタイルとその代表的なアーティストの組み合わせとして正しくないものを、次のa～eから一つ選びなさい。

スタイル	アーティスト
a ビバップ	チャーリー・パーカー
b クール・ジャズ	デューク・エリントン
c ハード・バップ	アート・ブレーキー
d モード・ジャズ	マイルス・デーヴィス
e スウィング	ベニー・グッドマン

- (4) アジア音楽について、音楽や舞踊、楽器の名前と国の組み合わせとして正しくないものを、次の a～e から一つ選びなさい。

音楽・舞踊・楽器	国名
a メヘテルハーネ	インド
b レゴン	インドネシア
c オルティンドー	モンゴル
d カッワーリー	パキスタン
e ピーパー	中国

- (5) 世界各地の音楽の特徴について述べたものとして正しくないものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a フラメンコは、歌と踊りとギターが一体となって激しいリズムで演じられるスペイン南部の音楽である。
- b セマーは、イスラム教の宗教的な音楽と舞踊で、ネイというたて笛が用いられるのが特徴である。
- c ヨーデルは、スイスのアルプス地方の民謡で地声と裏声を交互に発声する技法が特徴である。
- d 東南アジアのケーンは、日本の雅楽の笙と同様に複数の竹管を束ねた楽器である。
- e 韓国のアジェンは、日本の箏と同じ構造・奏法の楽器である。

2 日本の音楽に関して、次の (1)～(5) の問いに答えなさい。

- (1) 歌舞伎の歴史について述べたものとして正しくないものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 歌舞伎の始まりは、江戸時代の初めに世阿弥が率いる女芸人達が上演した舞踊劇だと言われている。
- b 歌舞伎には、歌舞伎よりも古くからある能の題材を取り入れた作品も多い。
- c 歌舞伎とほぼ同じ時代に生まれたヨーロッパの音楽劇にオペラがある。
- d 江戸時代に歌舞伎を上演した劇場は芝居小屋と言われ、観客席は1枱に4～5人ずつ入る栈敷になっているものが多かった。
- e 歌舞伎は、日本を代表する舞台芸術として2005年にユネスコの無形文化遺産に登録された。

(2) 郷土の音楽とその地域の組み合わせとして正しくないものを、次の a～e から一つ選びなさい。

	郷土の音楽	地域
a	さんさ踊り	岩手県
b	安来節	鳥取県
c	エイサー	沖縄県
d	祇園ばやし	京都府
e	鬼太鼓	新潟県

(3) 雅楽の説明として正しくないものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 管絃とは、外来曲を起源とする曲の、舞を伴わない演奏である。
- b 管絃の形態で演奏されるのは、唐楽の曲だけである。
- c 管絃の代表曲に、《越天楽》がある。
- d 管絃の曲の冒頭は、原則として箏篋の主旋律から始まる。
- e 管絃の演奏においては、通常、打楽器が最前列に並ぶ。

(4) 能楽の説明として正しいものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 能の舞台上演において、舞台の向かって右側に紋付袴姿でまとまって座り、場面の情景や登場人物の心理描写を謡う役のことを地謡という。
- b 地謡は、シテ方以外の役者が務めている。
- c 地謡は「じうた」と読む。
- d 能の囃子は、笛・小鼓・大鼓・太鼓で構成され、声楽表現を全く含まない。
- e 能の囃子は原則として4種の楽器を用いるが、なかには大鼓の入らない曲もある。

(5) 人形浄瑠璃の説明として正しいものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 人形浄瑠璃に用いられている浄瑠璃は義太夫節といい、江戸で生まれた浄瑠璃である。
- b 義太夫節の創始者は近松門左衛門である。
- c 義太夫節は、細棹三味線で演奏される。
- d 人形浄瑠璃で浄瑠璃（語り）を担当する人を太夫という。
- e 人形浄瑠璃の上演の際に、舞台上で太夫が座る場所を黒御簾という。

(選択問題 中学校)

第5問 平成29年3月告示の中学校学習指導要領 音楽について、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、「第1 目標」の一部である。(①)・(②)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～eから一つ選びなさい。

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる(①)を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び(②)について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

- a ①態度や心情 ②音楽の多様性
 b ①態度や心情 ②多様な音楽文化
 c ①資質・能力 ②様々な音楽文化
 d ①資質・能力 ②音楽の多様性
 e ①態度や心情 ②様々な音楽文化

- (2) 次の文は、「第2 各学年の目標及び内容 第1学年 2内容 A表現」に関する内容である。(①)・(②)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～eから一つ選びなさい。

- (1) 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること。

イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること。

(ア) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり

(イ) 声の(①)や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり

ウ 次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。

(ア) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、(②)、身体の使い方などの技能

(イ) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能

- a ①音色 ②母音や子音の発音
 b ①音色 ②言葉の発音
 c ①特色 ②言葉の発音
 d ①特色 ②母音や子音の発音
 e ①種類 ③言葉の発音

(3) 次の文は、「第2 各学年の目標及び内容 第2学年及び第3学年 2内容 B鑑賞」に関する内容である。(①) ~ (③) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa~eから一つ選びなさい。

- (1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。
- (ア) 曲や演奏に対する評価とその(①)
- (イ) 生活や社会における音楽の意味や役割
- (ウ) 音楽表現の共通性や(②)
- イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。
- (ア) 曲想と音楽の構造との関わり
- (イ) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり
- (ウ) 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の(③)

- a ①特徴 ②多様性 ③固有性
- b ①根拠 ②固有性 ③多様性
- c ①根拠 ②多様性 ③固有性
- d ①根拠 ②特徴 ③固有性
- e ①特徴 ②固有性 ③多様性

(4) 次の文は、「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」 1 (1) である。(①) ~ (③) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa~eから一つ選びなさい。

題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の(①)の実現を図るようにすること。その際、音楽的な見方・考え方を働かせ、他者と(②)しながら、音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさや美しさなどを見いだしたりするなど、思考、判断し、表現する(③)を大切にした学習の充実を図ること。

- a ①主体的・対話的で深い学び ②協同 ③一連の過程
- b ①学習意欲に基づいた学び ②協働 ③PDCAサイクル
- c ①学習意欲に基づいた学び ②協同 ③一連の過程
- d ①主体的・対話的で深い学び ②協同 ③PDCAサイクル
- e ①主体的・対話的で深い学び ②協働 ③一連の過程

- (5) 次の文は、「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」 1 (4) である。(①) ~ (③) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a ~ e の中から一つ選びなさい。

オ

第2の各学年の内容の「A表現」の(1), (2) 及び(3) 並びに「B鑑賞」の(1)の指導については、それぞれ特定の活動のみに(①) ようにするとともに、必要に応じて、(②) を要として各領域や(③) の関連を図るようにすること。

- | | | | |
|---|--------|---------|-------|
| a | ①偏らない | ②〔共通事項〕 | ③分野 |
| b | ①偏らない | ②知識・技能 | ③分野 |
| c | ①偏らない | ②〔共通事項〕 | ③学習内容 |
| d | ①終始しない | ②知識・技能 | ③学習内容 |
| e | ①終始しない | ②〔共通事項〕 | ③分野 |

(選択問題 高等学校)

第5問 平成21年3月告示の現行学習指導要領 芸術科 第1 音楽Ⅰについて、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、「第1 目標」である。(①)～(③)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～eから一つ選びなさい。

音楽の幅広い活動を通して、(①)にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、(②)を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、(③)についての理解を深める。

- a ①一生 ②技能 ③音楽文化
- b ①生涯 ②感性 ③音楽表現
- c ①生涯 ②感性 ③音楽文化
- d ①一生 ②感性 ③音楽文化
- e ①生涯 ②技能 ③音楽表現

(2) 次の文は、「2 内容 A表現 (1)歌唱ア」に関する内容である。(①)・(②)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～eから一つ選びなさい。

曲想を歌詞の内容や楽曲の(①)とかかわらせて感じ取り、(②)をもって歌うこと。

- a ①背景 ②イメージ
- b ①構成 ②感情
- c ①背景 ②感情
- d ①構成 ②イメージ
- e ①背景 ②表情

- (3) 次の文は、「2 内容 A表現 (3) 創作イ」に関する内容である。(①)・(②)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～eから一つ選びなさい。

(①)の特徴を生かし、反復、変化、(②)などの構成を工夫して、イメージをもって音楽をつくること。

- a ①音素材 ②応答
- b ①音素材 ②再現
- c ①音 ②対照
- d ①音 ②再現
- e ①音素材 ②対照

- (4) 次の文は、「3 内容の取扱い (5)」である。(①)・(②)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～eから一つ選びなさい。

内容のAの(3)の指導に当たっては、(①)に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成することを重視するとともに、(②)を工夫させるものとする。

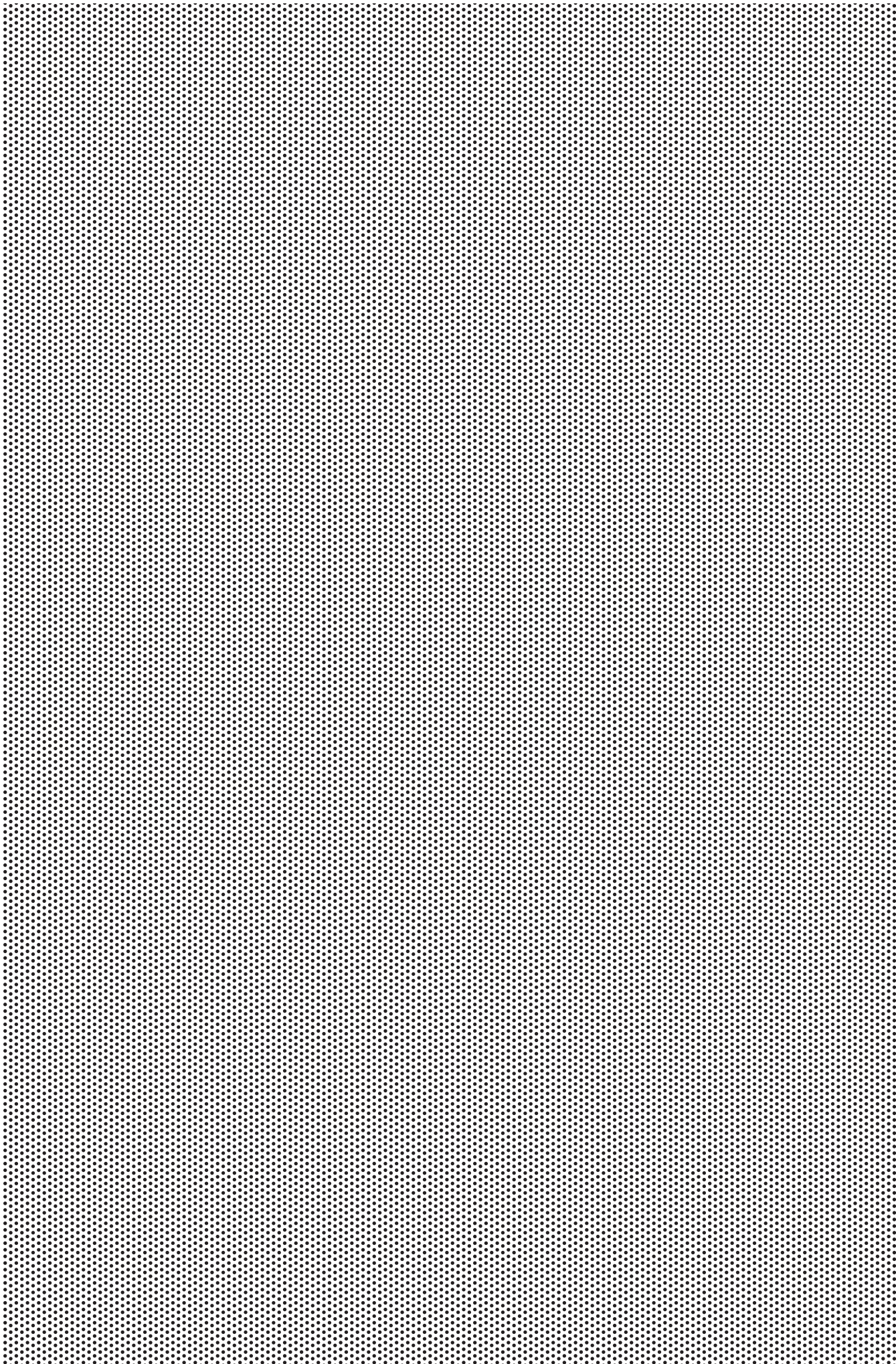
- a ①活動中 ②創作活動
- b ①即興的 ②作品を記録する方法
- c ①事前 ②作品を記録する方法
- d ①即興的 ②創作活動
- e ①活動中 ②作品を記録する方法

(5) 次の文は、「3 内容の取扱い (7)」である。(①)・(②) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a～e から一つ選びなさい。

オ

内容の A 及び B の教材については、(①) 等を考慮し、我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽から幅広く扱うようにする。また、B の教材については、(②) を含めて扱うようにする。

- | | | |
|---|-----------|---------------|
| a | ①学校の実態 | ②広く世界の音楽 |
| b | ①地域の実態 | ②アジア地域の諸民族の音楽 |
| c | ①地域や学校の実態 | ②広く世界の音楽 |
| d | ①地域や学校の実態 | ②アジア地域の諸民族の音楽 |
| e | ①社会の実態 | ②広く世界の音楽 |



- 4 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。例えば、解答記号 と表示のある問いに対して b と解答する場合は、下の（例）のようにアの解答欄の b をマークしてください。

（例）

ア	<input type="radio"/> a	<input checked="" type="radio"/> b	<input type="radio"/> c	<input type="radio"/> d	<input type="radio"/> e	<input type="radio"/> 0	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7	<input type="radio"/> 8	<input type="radio"/> 9	<input type="radio"/> .	<input type="radio"/> -	<input type="radio"/> ±
---	-------------------------	------------------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

- 5 第5問は選択問題です。受審する校種の問題についてマークしてください。
- 6 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。

